



根堀台だより

平成29年5月16日

第 17 号

校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

陸上練習開始！ 頑張れチーム由利中



頑張る由利中選手団

5月15日(月)の放課後から、5月25日(木)に開催される「郡市陸上大会」に向けて本格的な練習が始まりました。各競技毎に全職員がついての練習となります。

本校では放課後の時間に陸上練習と部活動の時間を確保し、子どもたちの活動を両立させるために、今週から時間割を工夫して実施しています。

選手となった子どもたちにとって、「2足のわらじ」は体力的にも大変だと思いますが、陸上練習を通して得た基礎体力等の向上は、各部活動でも必ず生かされることだと思います。さらに、帰宅後の「家庭学習」もあります。6月になれば郡市総体もありますので、「今が心と体を鍛える時」と肝に銘じて、頑張らせたいものです。

また、5月17日(水)の放課後は、「水林競技場」で本番に向けて練習を行います。由利本荘市・にかほ市13校の代表選手が集う大変大きな大会ですから、子どもたちにとって試合前の緊張感は並々ならぬものがあると思います。特に、水林での練習の機会は、初めて陸上大会に参加する子どもにとって大変意義のあるものだと思います。どんな時でも「平常心」をもって勝負に臨めるよう育てて行きたいものです。

生徒数の減少に伴って年々縮小化していく「由利中選手団」ですが、「山椒は小粒でもピリリと辛い」そんな活躍に期待しています。平日ではありませんが、もしご都合が付きましたら是非応援に駆けつけて頂きたいと思います。また、壮行会は大会前日の午後3時40分に行いますので、是非ご来校下さい。

野生動物に注意 カモシカ発見



カモシカの幼獣は可愛いですが

5月16日（火）の朝、登校途中に学校に近い「北日本工業」さん付近で野生の「カモシカ（ニホンカモシカ）」を見たという報告が生徒からありました。例年この時期になると「熊」「猿」「イノシシ」などの野生動物の出現が話題に上がります。今年は、由利本荘市内の他所でも「カモシカ」に遭遇したという話を聞いています。

「カモシカ」は比較のおとなしい動物で、人を見ても恐れませんが、基本的には人を襲う事はないそうです。しかし、昼夜行性の動物ですから、朝の登校時だけでなく、下校時の暗くなった時間帯でも遭遇する可能性があります。日中、いきなり道路に飛び出してきた「カモシカ」を見たこともあります。また夜間に車を運転していた時、道路の真ん中に立っていた巨大な「カモシカ」を見たこともあります。通常は単独行動をしていますが、4～6月頃つまり今の時期が出産期で、子どもと一緒にいる時は、人間に危害を加えることがあるそうです。子どもが単独でいる場合、親とはぐれたと思い保護することがありますが、ほとんどの場合は近くに親がおり、様子を伺っています。むやみに近づいたりすると、親が威嚇したり危害を加えてきたりしてくる場合もあります。また、幼獣は一度捕獲されると自然に帰るのは困難となるため、近寄ったり触れたりせず、見守ってください。

対処方法は「そのまま見守る」ことがベストです。「必要以上に近寄らない」こと。時に、「カモシカを興奮させたり、必要以上に騒ぎたてたりしないこと」です。「大声を上げるなどニホンカモシカを興奮させるような行動をとらない」でください。カモシカがパニックを起こして、突進や角によるケガには特に注意が必要です。もし、犬を連れてさんぽしていた場合、犬に吠えられたりするとカモシカが興奮するので、「犬を近づけない」ようにしてください。また、「逃げ道をふさがないこと」です。カモシカの「正面に立つのは危険」です。ともかく、「静かにその場を立ち去ること」です。そっとしておけば、だいたい山に帰ります。

しかし、最近の野生動物には時折「人慣れした個体」があり、大きな被害を引き起こす場合があります。人を見慣れているカモシカは人を見ても逃げないで、逆に頭突きや小刻みにダッシュなどの威嚇行動を取って前進してくる場合があります。近い距離で遭遇した場合は、絶対にカモシカの目を見てはいけません。もし、見つめ合った状態で人間側から視線をそらしたり、背中を向けたらすると、カモシカは攻撃を仕掛けてくるそうです。

カモシカが病気や怪我等で動けなくなっている場合や死亡している場合は、必ず「教育委員会」に報告・連絡して下さい。ただし、反芻性の草食動物ですから、反芻中は座り込んであまり動かないため、しばしば衰弱していると思われがちですが、多くの場合、休憩しながら反芻しているだけですので、しばらく様子を見てください。

小学生や中学生は珍しさのあまり、近寄って声をかけたり、触ったりする子どもがいますが、大変危険な行為です。学校でも指導しましたが、ご家庭でもよろしくお願いします。